

HGU *Library News* No.3

こんにちは。ライブラリーニュース第3号です。今回は絵本を紹介します。

住吉図書館には数多くの絵本や紙芝居などが、あります。様々な絵本がそろっているので、良い絵本との出会いがあるかもしれません。ぜひ一度訪れてみてください。

絵本特集



『いいものもらった』 森山京・作／村上勉・絵 小峰書店

たぬきのおばあさんは、遠くに住む孫たちを訪ねる時、10個のお土産をふろしきに詰めて持っていく事にした。11匹の孫たちと会い、ふろしきを広げて、1つ足りない事に気付く。何も貰えなかった孫、タンゴはふろしきを貰い、それを小さく畳むと、「いいものもらった」と頭に乗せて、出掛けて行った。林の中で出会った、のねずみの草の実拾いを、タンゴはふろしきをハチマキにして頭に結び、手伝う。次に出会った、きつねのすき刈りと日干し、その次に出会ったくまのたきぎ作りも手伝った。彼らは皆「おかげでしごとがはかどった」と喜んで帰っていった。

風が冷たくなり、タンゴはふろしきをマントのように羽織った。今度は誰にも会わなかったが、地面から顔を出すきのこを見つけた。「いいものみつけた!」と、タンゴはふろしきを広げ、片っ端からきのこを採った。そのうち、いつのまにか辺りは薄暗くなり、帰ろうとするが、背中に背負ったきのこが重く感じてくる。疲れて座り込んだ時、兄弟たちが迎えに来てくれた。その日の夕食は、きのこ汁。みんながおかわりして、お鍋は空になった。

おばあさんが帰る日、孫たちは峠まで見送り、今度はみんなで遊びに行く約束した。その帰り道、時雨が降り出してきて、タンゴはふろしきをみんなの頭の上に広げた。兄弟の一人が「おっきいかさみたいだね」というと、タンゴは「いいものもらった」とにっこり笑った。



『はじめてのおるすばん』 しみずみちを・作／山本まつ子・絵 岩崎書店

団地で暮らす、今年3歳のみほちゃんは、ぬいぐるみのこぐまとお留守番する事になった。急に用事が出来たママが家を出てしまうと、部屋の中はシーン。木彫りの熊が怖く見えたり、柱時計が『ひとり』を強調しているよう。みほちゃんは急に心細くなった。玄関のチャイムが鳴る。一人目は、小包を届けに来た郵便屋さん。二人目に集金で来た新聞屋さんは、ポストから覗き込んできて、みほちゃんには目玉のお化けに見えた。怖くなり、涙が溢れそうになる。そして、にこにこ顔のママが帰ってきた。「だれかこなかった?」と聞くママに、みほちゃんは一生懸命説明した。その後、ママがお土産に買ってきてくれた、みほちゃんのお好きなプリンをこぐまと一緒に食べた。



『ヘルシー家の人びと 四季の絵本』 鈴木まもる・作／絵 金の星社

ヘルシー家の人びとは自然の中で、からだも心も健康な毎日をすごす、あたたかな家族です。春風のおいや、雨の音に心をかたむけ、もぎたての野菜のおいしさ、家族で囲む食卓のぬくもりを大切にしています。

春 夏 秋 冬 どんな小さな草や花もお日さまの光をあびて、のびのびと育っています。

春 夏 秋 冬 四つの季節の中で、自然に元気に暮らしているのがヘルシー家の人たちです。

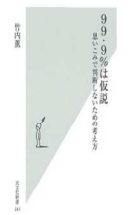
ライブラリーメイトのおすすめ本



『さおだけ屋はなぜ潰れないのか？身近な疑問からはじめる会計学』

山田真哉 著 光文社

私たちの身近にある疑問の答えを指し示すものがいくつか載っているので、会計に興味がなくとも読みやすい一冊です。”数学の力”ではなく”数字の力”というものは日々磨かれていくものだということが分かります。（翡翠）



『99.9%は仮説 思いこみで判断しないための考え方』

竹内薫 著 光文社

客観的・主観的、多方面からものごとをとらえることのできる考え方とは何か？ということを図を載せながら、科学的に説明されています。（翡翠）



『イギリス手づくりの生活誌 伝統ある道具と暮らし』

ジョン・セイモア 著・小泉和子 監訳 東洋書林

イギリスの暮らしに密着した、伝統的な道具を数多く紹介した本です。台所用品から明かり、装飾用品まで、幅広い道具を知ることができ、丁寧に書き込まれたイラストと写真で、眺めているだけでも楽しめます。（浮遊生物）



『Michio's Northern Dream1 オーロラの彼方へ』 星野道夫 著 PHP

19年にわたって、アラスカの自然と暮らしを追いつけた写真家、星野道夫の写真集です。写真もさることながら、間に挟まれている文章からも、アラスカの厳しく美しい自然を感じることができます。（浮遊生物）



『空想科学読本1』 柳田理科 著 メディアファクトリー

ウルトラマンが、実際に戦うとどうなるのか、ロボットが合体するためにはどうしたらよいのか。などなど、空想科学の世界を、多くのユーモアを交えながらも、科学的に検証する本です。空想科学にも現実性を求めたい人におすすめです。（浮遊生物）



『英語の発想』 安西徹雄 著 ちくま学芸文庫

著者の安西さんは、元「上智三羽鳥」のひとり。日本を代表する英文学者で、名翻訳家としても知られている人です。

ここに紹介する『英語の発想』は、英語と日本語の構造の違いを一つひとつ明らかにしながら、その違いを踏まえて英語を日本語に、日本語を英語に、どう訳せばいいのかを明解に、そして丁寧に教えてくれます。目からウロコが落ちる感じがするはず。翻訳や日英比較言語に興味のある人、必読の書。ここで書かれていることは、同じインド・ヨーロッパ語の系統に属するフランス語、ドイツ語、イタリア語等の翻訳にも応用が利くはず。読み終わったら、同じく安西さんの名著『英文翻訳術』（ちくま学芸文庫）も、ぜひ読んでみて。布橋図書館には講談社のものが入っています。（パウアー）

マエストロ☆望月の趣味尽くし。

『ふしぎの国の安兵衛』 荒木源 著 出版 小学館

生活に疲れた子持ち SE の「ひろ子」

そんな母親の元で有り余った元気のやり場の無い「友也」

そんな母子の前に現れた侍「安兵衛」



ひょんなことからタイムスリップした江戸時代のお侍・安兵衛を居候させる事になって始まった妙な日常。

手慰みにはじめた家事がきっかけでいつしか TV で人気のパティシエになった安兵衛・・・。

Science Fiction でもなく、

Fantasy でもなく、

御伽噺に近い気もするけど、

説教臭くもない。

シンプルなプロットながら、

次の展開が読めそうで読めなくて、

ぐいぐい引き込まれて、

気づいたら最終章まで来てしまう。

この作家の構成感は素晴らしい！

現代を生きる私達には

安兵衛から考えさせることが多いものである。

ありそうでなかった素敵な話だと思う。

2007年12月の新着本



『スタバではグランデを買え！ 価格と生活の経済学』 吉本佳生 著 ダイアモンド社

有名コーヒー店の値段の仕組み、携帯電話の複雑な料金体系、100円ショップの安さの秘密など、モノやサービスの値段はどうやって決まっているのか。経済学のフィルターを通して、社会のしくみを覗いてみよう。



『他の誰かになりたかった 多重人格から目覚めた自閉の少女の手記』 藤家寛子 著 花風社

この世界に、違和感がありすぎて私は私でいられなかった。「もう一人の私」と話し合っ、私は再び「本物の私」になった。そして知った。

違和感の原因は、私が「アスペルガー症候群」だったからなのだと。



『いじめをやめさせる！ 現役教師が本音で語る、現実的対処法』 佐山透 著 草思社

教師を動かす方法、教師の習性、教師の弱点などが書かれています。

浜松学院大学図書館 住吉分館



<紙芝居・絵本>

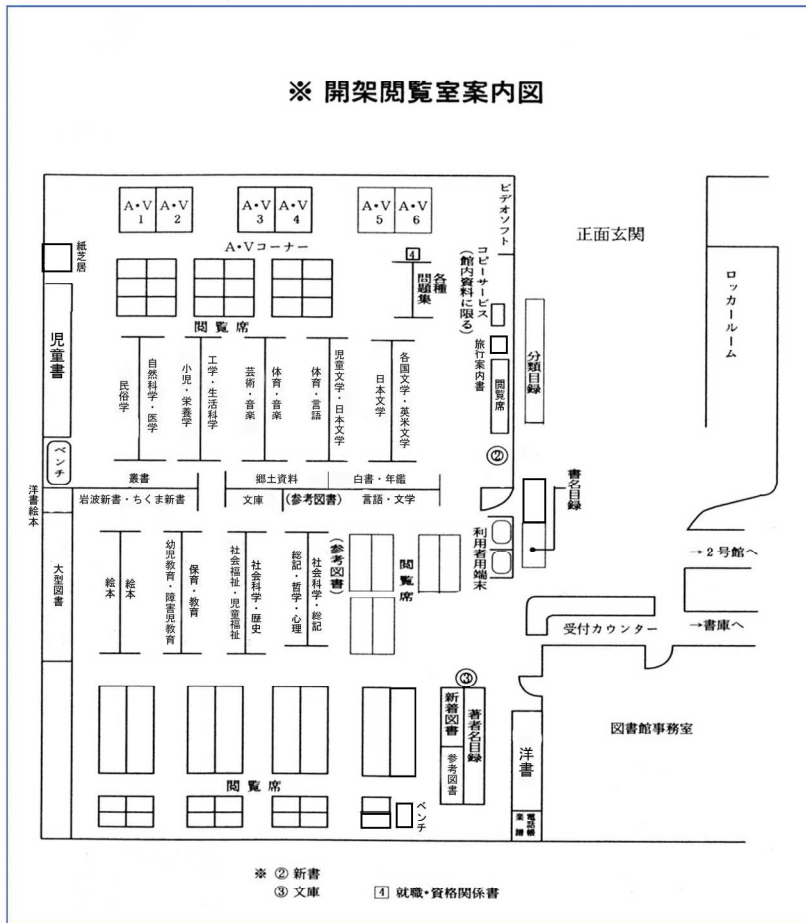


<机>
住吉図書館には、ノートパソコンのための電源やLANがないので、注意しましょう。



<雑誌>
特に雑誌は充実していて、幼児教育系だけでなく、心理系や福祉系など、静岡県西部の大学でも有数のタイトル数を誇ります。

※ 開架閲覧室案内図



<ロッカー>
住吉図書館は、かばんを持って入ることができません。必ず入り口のロッカーの中にかばんを預けましょう。鍵をかけるのに100円がかかりますが最後にちゃんと戻ってきます。



<カウンター>
わからないことがあったら、ここでききましょう



<新着図書>

<アクセス>

浜松駅バスターミナル14番乗り場
[51]中田島泉高丘線 (せいのり廻り)
[8]鶴見富塚循環 (せいのり廻り)

「浜松学院大 住吉」下車 徒歩5分 (片道190円)



ライブラリーメイトからのお知らせ

ライブラリーメイトでは、随時仲間を募集しています！
自分の好きな本を仲間同士で紹介しあったり、
ライブラリーニュースを作ったりなど、
図書館に関する様々な活動を行っています。

詳細を知りたい方は、
2年渭原由利子まで！
g07c010yi@hgu.ac.jp